

連結貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	10,580	流動負債	9,559
現金及び預金	4,074	支払手形	550
受取手形	302	営業未払金	4,493
営業未収入金	5,564	短期借入金	230
貯蔵品	78	1年内返済予定の長期借入金	1,393
その他	561	リース債務	28
貸倒引当金	△0	未払法人税等	496
		賞与引当金	501
固定資産	30,227	役員賞与引当金	35
有形固定資産	27,432	設備関係支払手形	0
建物及び構築物	12,860	その他の他	1,828
機械装置及び運搬具	2,854	固定負債	6,327
土地	11,154	長期借入金	410
リース資産	82	リース債務	52
建設仮勘定	221	繰延税金負債	2,462
その他	259	役員退職慰労引当金	79
無形固定資産	165	株式給付引当金	21
その他	165	役員株式給付引当金	33
投資その他の資産	2,629	退職給付に係る負債	2,418
投資有価証券	1,523	資産除去債務	611
退職給付に係る資産	73	その他	236
繰延税金資産	125	負債合計	15,886
その他	917	(純資産の部)	
貸倒引当金	△9	株主資本	24,292
資産合計	40,808	資本金	2,237
		資本剰余金	2,959
		利益剰余金	19,351
		自己株式	△256
		その他の包括利益累計額	629
		その他有価証券評価差額金	487
		繰延ヘッジ損益	76
		退職給付に係る調整累計額	64
		純資産合計	24,922
		負債純資産合計	40,808

連 結 損 益 計 算 書

(2020年4月1日から
2021年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営 業 収 益	47,782
営 業 原 価	44,637
営 業 総 利	3,145
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,641
営 業 外 収 益	1,503
受 取 利 息	0
受 取 配 当 金	26
仕 入 割 引	17
受 取 手 数 料	9
受 取 賃 貸 料	26
助 成 金 収 入	47
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	16
そ の 他	8
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	7
売 上 割 引	3
債 権 売 却 損	16
そ の 他	0
経 常 利 益	1,629
特 別 利 益	
固 定 資 産 売 却 益	36
投 資 有 価 証 券 売 却 益	3
特 別 損 失	
固 定 資 産 除 売 却 損	85
災 害 に よ る 損 失	23
税金等調整前当期純利益	1,560
法人税、住民税及び事業税	796
法人税等調整額	△206
当期純利益	971
親会社株主に帰属する当期純利益	971

連結株主資本等変動計算書

(2020年4月1日から
2021年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
当 期 首 残 高	2,237	2,959	18,578	△255	23,519
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△197		△197
親会社株主に帰属する 当期純利益			971		971
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当 期 変 動 額 合 計	-	-	773	△0	773
当 期 末 残 高	2,237	2,959	19,351	△256	24,292

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当 期 首 残 高	297	-	4	301	23,821
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当					△197
親会社株主に帰属する 当期純利益					971
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	190	76	60	327	327
当 期 変 動 額 合 計	190	76	60	327	1,100
当 期 末 残 高	487	76	64	629	24,922

連結注記表

連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項に関する注記等

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社	19社	(株)エスラインギフ、(株)エスライン九州、(株)エスラインヒダ、(株)スリーエス物流、(株)スワロー物流東京、(株)エスライン郡上、(株)エスラインミノ、(株)スワロー急送、(株)エスライン各務原、(株)エスライン羽島、(株)スワロー物流、(株)スワロー物流大阪、(株)エスライン奈良、(株)宅配百十番岐阜、(株)スワロー物流浜松、(株)スワロー物流上尾、(株)スワローセキュリティーサービス、(株)スワロー物流福岡、(株)スワローロジックス
-------	-----	--

非連結子会社	2社	(株)エストピア、(株)宅配百十番商事
--------	----	---------------------

非連結子会社2社はいずれも小規模会社であり、合計の総資産、売上高、当期純損益のうち持分に見合う額および利益剰余金のうち持分に見合う額等は、いずれにおいても連結計算書類に重要な影響を及ぼしておりません。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用会社

非連結子会社	1社	(株)エストピア
関連会社	1社	TSトランスポート(株)

持分法適用外の会社

非連結子会社	1社	(株)宅配百十番商事
--------	----	------------

適用外の会社は当期純損益および利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としてもその影響の重要性がありません。

持分法適用会社の事業年度

すべての持分法適用会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

すべての連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券	その他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）。 時価のないもの 移動平均法による原価法。
たな卸資産	主に、移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）。
デリバティブ	時価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

定額法。なお、耐用年数および残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、事業用定期借地権が設定されている借地上の建物については、当該契約期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

また、一部の賃貸固定資産については、当該契約期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

無形固定資産（リース資産を除く）

定額法。なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とした定額法によっております。なお、残存価額については、リース契約上に残価保証の取決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のは零としております。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当連結会計年度の負担額を計上しております。

役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当連結会計年度に見合う額を計上しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、支給見込額を計上しております。

株式給付引当金

連結子会社が株式給付規程に定める従業員への当社株式等の給付に備えるため、当連結会計年度末における株式給付債務の見込額を計上しております。

役員株式給付引当金

役員株式給付規程に定める取締役への当社株式等の給付に備えるため、当連結会計年度末における株式給付債務の見込額を計上しております。

(4) 重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段

商品スワップ取引

ヘッジ対象

燃料購入に係る予定取引の一部

ヘッジ方針

連結子会社は取引権限および取引限度額を定めた社内管理規程に基づき、燃料価格の市場相場変動に対するリスク回避を目的としてデリバティブ取引を利用しており、投機目的の取引は行っておりません。

ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして判断しております。

(5) その他連結計算書類の作成のための重要な事項

退職給付に係る会計処理の方法

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の日連結会計年度から費用処理しております。

未認識数理計算上の差異については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

小規模企業等における簡便法の採用

(株)エスラインギフを除く連結子会社は、退職給付に係る負債および退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

表示方法の変更に関する注記

（「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用）

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」（企業会計基準第31号 2020年3月31日）を当連結会計年度の年度末に係る連結計算書類から適用し、連結計算書類に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

会計上の見積りに関する注記

（繰延税金資産の回収可能性）

(1) 当連結会計年度の連結計算書類に計上した金額

	当連結会計年度
繰延税金資産	125百万円
繰延税金負債	2,462百万円

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

繰延税金資産は、将来減算一時差異の解消または税務上の繰越欠損金の課税所得との相殺により、将来の税金負担額を軽減する効果を有すると認められる範囲内で認識しています。

繰延税金資産の回収可能性の判断は、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号）で示されている会社分類、将来の課税所得の見積額、将来減算一時差異の解消見込年度のスケジューリングに依存します。将来の課税所得の見積額の基礎となる事業計画に含まれる将来の売上高および軽油価格等の予測には、重要な判断を伴う主要な仮定が含まれています。また、将来減算一時差異の将来解消見込年度のスケジューリングに含まれる将来の退職給付等の予測においても、重要な判断を伴う主要な仮定が含まれています。

これらの主要な仮定は、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期および金額が見積りと異なった場合、翌連結会計年度の連結計算書類において、繰延税金資産および繰延税金負債の金額に重要な影響を与える可能性があります。

(追加情報)

(株式給付信託 (BBT))

(1) 取引の概要

当社は、2017年5月19日開催の取締役会において、当社の取締役および当社の一部の子会社の取締役(監査等委員である取締役を除く。以下、「取締役等」といいます。)に対し、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下、「BBT制度」といいます。)を導入することを決議し、2017年6月29日開催の第78期定時株主総会において承認されました。

BBT制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、BBT制度に基づき設定される信託を「BBT信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式および当社株式を退任日時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)がBBT信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時とします。

BBT制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(2) 信託に残存する自社の株式

BBT信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当連結会計年度末における当該自己株式の帳簿価額は75百万円、株式数は61,900株であります。

(株式給付信託 (J-E SOP))

(1) 取引の概要

当社は、2019年11月7日開催の取締役会において、当社の子会社である株式会社エスラインギフ(以下「エスラインギフ」といいます。)の従業員に対し、株式給付制度「株式給付信託(J-E SOP)」(以下「J-E SOP制度」といいます。)を導入することを決議いたしました。

J-E SOP制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、J-E SOP制度に基づき設定される信託を「J-E SOP信託」といいます。)を通じて取得され、エスラインギフが定めた株式給付規定に基づき、一定の要件を満たしたエスラインギフの従業員に対し当社株式および当社株式を退職日時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」といいます。)がJ-E SOP信託を通じて給付される制度です。なお、エスラインギフの従業員が当社株式等の給付を受ける時期は、退職時とします。

J-E SOP制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(2) 信託に残存する自社の株式

J-E SOP信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当連結会計年度末における当該自己株式の帳簿価額は76百万円、株式数は73,500株であります。

連結貸借対照表に関する注記

1. 受取手形裏書譲渡高 1百万円
2. 有形固定資産に対する減価償却累計額 24,302百万円
3. 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は次のとおりであります。

建物（帳簿価額）	443百万円
土地（帳簿価額）	2,116百万円
計	<u>2,560百万円</u>

担保付債務は次のとおりであります。

短期借入金	20百万円
1年内返済予定の長期借入金	500百万円
計	<u>520百万円</u>

連結株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当連結会計年度末における発行済株式の種類及び総数
普通株式 11,095,203株

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	百万円 109	円 10	2020年3月31日	2020年6月29日
2020年11月6日 取締役会	普通株式	87	8	2020年9月30日	2020年12月10日

- (注) 1. 2020年6月26日定時株主総会の決議による配当金の総額には、株式給付信託（BBT）および株式給付信託（J-E SOP）が保有する当社株式に対する配当金1百万円が含まれております。
2. 2020年11月6日取締役会の決議による配当金の総額には、株式給付信託（BBT）および株式給付信託（J-E SOP）が保有する当社株式に対する配当金1百万円が含まれております。

- (2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
2021年6月29日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案
しております。

① 配当金の総額	153,676,782円
② 1株当たり配当額	14円
③ 基準日	2021年3月31日
④ 効力発生日	2021年6月30日

なお、配当原資については、利益剰余金とすることを予定しており、配当金の総額には株式給付信託（BBT）および株式給付信託（J-E-S-O-P）が保有する当社株式に対する配当金1百万円が含まれております。

金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については銀行借入による方針です。デリバティブは、後述するリスクを回避する目的として利用し、投機目的の取引は行いません。

営業債権である受取手形および営業未収入金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に従いリスクの低減を図っております。また、投資有価証券は主に株式であり、定期的に時価や発行体（取引先企業）の財務状況等を把握しております。

借入金は運転資金（主に短期）および設備投資資金（長期）に使用し、長期借入金については主に固定金利型借入金を導入しております。

デリバティブは内部管理規程に従い、市場相場変動リスクを回避するため商品スワップ取引を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	連結貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	4,074	4,074	—
(2) 受取手形	302	302	—
(3) 営業未収入金	5,564	5,564	—
(4) 投資有価証券 その他有価証券	1,289	1,289	—
資 産 計	11,230	11,230	—
(1) 支払手形	550	550	—
(2) 営業未払金	4,493	4,493	—
(3) 短期借入金	230	230	—
(4) 長期借入金	1,803	1,803	△0
負 債 計	7,077	7,077	△0
※デリバティブ取引	115	115	—

※ デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については()で表示しております。

(注) 1. 時価の算定方法

資産

- (1) 現金及び預金、(2) 受取手形、(3) 営業未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

- (4) 投資有価証券

株式および債券は取引所の価格によっております。

負債

- (1) 支払手形、(2) 営業未払金、(3) 短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

- (4) 長期借入金

元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。なお、長期借入金には1年内返済予定の長期借入金が含まれております。

デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

2. 非上場株式（連結貸借対照表計上額234百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「資産(4) 投資有価証券」には含めておりません。

賃貸等不動産に関する注記

1. 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社の一部連結子会社では、大阪市、名古屋市その他の地区において、資産の有効活用を図るため賃貸用の建物（土地を含む。）を有しております。

2. 賃貸等不動産の時価等に関する事項

(単位：百万円)

連結貸借対照表計上額	時	価
764		4,121

(注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額および減損損失累計額を控除した金額であります。

2. 時価の算定方法は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額（指標等を用いて調整を行ったものを含む。）であります。

1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	2,298円75銭
1株当たり当期純利益	89円57銭

重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

その他の注記

記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,289	流動負債	6,244
現金及び預金	39	営業未払金	33
		1年内返済予定の長期借入金	793
営業未収入金	22	未払金	6
		未払法人税等	6
関係会社短期貸付金	3,126	預り金	5,399
		役員賞与引当金	4
その他	101	その他	0
固定資産	15,383	固定負債	894
無形固定資産	5	長期借入金	410
ソフトウェア	5	繰延税金負債	427
投資その他の資産	15,378	役員退職慰労引当金	47
投資有価証券	1,270	役員株式給付引当金	8
関係会社株式	2,898	その他	0
関係会社長期貸付金	11,202	負債合計	7,138
その他	7	(純資産の部)	
資産合計	18,672	株主資本	11,130
		資本金	2,237
		資本剰余金	3,068
		資本準備金	2,299
		その他資本剰余金	769
		利益剰余金	6,080
		利益準備金	351
		その他利益剰余金	5,729
		別途積立金	70
		繰越利益剰余金	5,659
		自己株式	△256
		評価・換算差額等	403
		その他有価証券評価差額金	403
		純資産合計	11,534
		負債純資産合計	18,672

損益計算書

(2020年4月1日から
2021年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	金 額
営 業 収 益		723
営 業 総 利 益		723
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		307
営 業 利 益		415
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	31	
受 取 配 当 金	24	
そ の 他	1	57
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	12	12
経 常 利 益		460
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	3	3
税 引 前 当 期 純 利 益		463
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	3	
法 人 税 等 調 整 額	2	5
当 期 純 利 益		458

株主資本等変動計算書

(2020年4月1日から
2021年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本						
	資 本 金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金		
		資 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	
					別 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	
当 期 首 残 高	2,237	2,299	769	3,068	351	70	5,399
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当							△197
当 期 純 利 益							458
自 己 株 式 の 取 得							
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)							
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	—	—	260
当 期 末 残 高	2,237	2,299	769	3,068	351	70	5,659

	株 主 資 本			評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 合 資 産 計
	利 益 剰 余 金 合 計	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 値 評 価 差 額	評 価 ・ 換 算 差 額 合 計	
当 期 首 残 高	5,820	△255	10,870	219	219	11,090
当 期 変 動 額						
剰 余 金 の 配 当	△197		△197			△197
当 期 純 利 益	458		458			458
自 己 株 式 の 取 得		△0	△0			△0
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)				183	183	183
当 期 変 動 額 合 計	260	△0	260	183	183	444
当 期 末 残 高	6,080	△256	11,130	403	403	11,534

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - その他有価証券 時価のあるもの
決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）。
 - 時価のないもの
移動平均法による原価法。
 - 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法。
2. 固定資産の減価償却の方法
 - 無形固定資産（リース資産を除く） 定額法。なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
3. 引当金の計上基準
 - 貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
 - 役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当事業年度に見合う額を計上しております。
 - 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、支給見込額を計上しております。
 - 役員株式給付引当金 役員株式給付規程に定める取締役への当社株式等の給付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額を計上しております。
4. その他計算書類の作成のための基本となる事項
 - 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

(追加情報)

(株式給付信託 (BBT))

(1) 取引の概要

当社は、2017年5月19日開催の取締役会において、当社の取締役および当社の一部の子会社の取締役(監査等委員である取締役を除く。以下、「取締役等」といいます。)に対し、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下、「BBT制度」といいます。)を導入することを決議し、2017年6月29日開催の第78期定時株主総会において承認されました。

BBT制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、BBT制度に基づき設定される信託を「BBT信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式および当社株式を退任日時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)がBBT信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時とします。

BBT制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(2) 信託に残存する自社の株式

BBT信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当事業年度末における当該自己株式の帳簿価額は75百万円、株式数は61,900株であります。

(株式給付信託 (J-E SOP))

(1) 取引の概要

当社は、2019年11月7日開催の取締役会において、当社の子会社である株式会社エスラインギフ(以下「エスラインギフ」といいます。)の従業員に対し、株式給付制度「株式給付信託(J-E SOP)」(以下「J-E SOP制度」といいます。)を導入することを決議いたしました。

J-E SOP制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、J-E SOP制度に基づき設定される信託を「J-E SOP信託」といいます。)を通じて取得され、エスラインギフが定めた株式給付規定に基づき、一定の要件を満たしたエスラインギフの従業員に対し当社株式および当社株式を退職日時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」といいます。)がJ-E SOP信託を通じて給付される制度です。なお、エスラインギフの従業員が当社株式等の給付を受ける時期は、退職時とします。

J-E SOP制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(2) 信託に残存する自社の株式

J-E SOP信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当事業年度末における当該自己株式の帳簿価額は76百万円、株式数は73,500株であります。

貸借対照表に関する注記

1. 保証債務

銀行借入金等に対し次のとおり債務保証しております。

(単位：百万円)

被 保 証 者	保証金額	被保証債務の内容
(株) エ ス ラ イ ン ギ フ	718	銀行借入金及び支払承諾
(株) エ ス ラ イ ン ミ ノ	205	銀行借入金及び支払承諾
(株) エ ス ラ イ ン 九 州	13	銀行借入金及び支払承諾
(株) ス リ ー エ ス 物 流	8	支払承諾
(株) エ ス ラ イ ン 各 務 原	4	支払承諾
(株) ス ワ ロ ー セ キ ュ リ テ ィ ー サ ー ビ ス	3	支払承諾
(株) 宅 配 百 十 番 岐 阜	1	支払承諾
計	954	

2. 関係会社に対する金銭債権債務（区分掲記を除く）

短期金銭債権 22百万円

短期金銭債務 5,408百万円

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業収益 723百万円

営業費用 145百万円

営業取引以外の取引高 40百万円

株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における自己株式の種類及び株式数

普通株式 253,690株

なお、上記株式数には、株式給付信託（BBT）および株式給付信託（J-E SOP）が保有する当社株式（135,400株）が含まれております。

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生は有価証券評価損、未払事業税であり、評価性引当額を控除しております。
繰延税金負債の発生は、会社分割による関係会社株式、現物配当の益金不算入額およびその他有価証券評価差額金であります。

関連当事者との取引に関する注記

子会社及び関連会社等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議 決 権 等 の 所 有 割 (被 所 有) 合	関 連 当 事 者 と の 関 係	取 引 の 内 容	取引金額	科 目	期末残高
子会社	(株)エスラインギフ	直接 100.00%	経 営 指 導 金 銭 貸 与 業 務 委 託 シ ス テ ム 利 用 事 務 所 賃 借 備 品 賃 借 役 員 の 兼 任 C M S 取 引	経 営 指 導 料 貸 付 金 利 息 短 期 貸 付 金 付 の 短 期 貸 付 金 取 の 長 期 貸 付 金 取 の 業 務 委 託 費 施 設 使 用 料 C M S 取 引 C M S 支 払 の 保 証 債 務	164 24 10,983 11,680 894 99 45 — 2 718	営 業 未 収 入 金 そ の 他 流 動 資 産 関 係 会 社 短 期 貸 付 金 関 係 会 社 長 期 貸 付 金 営 業 未 払 金 預 り 金 —	13 0 3,042 8,663 10 1,135 —
	(株)エスライン九州	直接 100.00%	経 営 指 導 役 員 の 兼 任 C M S 取 引	C M S 取 引	—	預 り 金	246
	(株)エスラインヒダ	直接 100.00%	経 営 指 導 役 員 の 兼 任 C M S 取 引	C M S 取 引	—	預 り 金	359
	(株)スリーエス物流	直接 100.00%	経 営 指 導 役 員 の 兼 任 金 銭 貸 与	長 期 貸 付 金 付 の 貸 付	1,000	関 係 会 社 長 期 貸 付 金	1,200
	(株)スワロー物流東京	直接 100.00%	経 営 指 導 役 員 の 兼 任 C M S 取 引	C M S 取 引	—	預 り 金	208
	(株)スワロー急送	直接 100.00%	経 営 指 導 役 員 の 兼 任 金 銭 貸 与 C M S 取 引	長 期 貸 付 金 取 の 回 付 取 引 C M S 取 引	62 —	関 係 会 社 長 期 貸 付 金 預 り	1,055 250
	(株)エスラインミノ	直接 100.00%	経 営 指 導 役 員 の 兼 任 C M S 取 引	C M S 取 引 保 証 債 務	— 205	預 り 金 —	361 —

種類	会社等の名称	議決権等 の所有割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	(株)エスライン各務原	直接 100.00%	経営指導 役員の兼任 C M S 取引	C M S 取引 C M S 利息 の支払	— 1	預り金	1,032
	(株)エスライン羽島	直接 100.00%	経営指導 役員の兼任 C M S 取引	C M S 取引	—	預り金	300
	(株)スワロー物流	直接 100.00%	経営指導 役員の兼任 C M S 取引	C M S 取引	—	預り金	257
	(株)スワローセキュリ ティーサービス	直接 100.00%	経営指導 役員の兼任 C M S 取引	C M S 取引	—	預り金	213

- (注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
2. 経営指導料については、経営管理全般に対する支援対価として営業収益の一定割合を受領することを契約により決定しております。
3. 業務委託費については、当社が委託する業務内容を勘案し、契約について協議の上決定しております。
4. 保証債務については、銀行借入及び支払承諾に対し債務保証しております。
5. CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）取引および貸付金に係る利息については、市場金利を参考に算出しております。
6. 施設使用料については、エスライン経営管理システムの使用頻度を勘案し算出しております。
7. CMS取引については、取引が反復的に行われているため、取引金額の記載を省略し、期末残高のみを表示しております。

1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額	1,063円92銭
1 株当たり当期純利益	42円24銭

重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

その他の注記

記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。